**（様式１）**

科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業

「南部・アインシュタイン　フェローシップ」

「マテリアルイノベーションを通した国際的博士人材育成」

「スマート社会を牽引する共創型X-Care課題解決アーキテクト養成」

**小　論　文**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | | 受験番号 | ※記入しないでください |
| フリガナ |  | 生年月日 | |
| 氏　名 |  | 年 　　月　 　日 | |
| 所属  （申請時） | 大学　　　　　　　　　研究科  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　専攻 | 指導教員  （申請時） |  |
| 研究題目 |  | | |
| キーワード | （5個程度） | | |
| このページに記載する内容はここまでとしてください。  　次ページ以降に、下記の要項に従って、小論文を書いてください。   * フォーマットは自由記述とします。 * 専門外の人に向けてわかりやすく説明してください。 * 文字数はA4用紙（45文字／行 × 40行程度）で、図・表・グラフを含み2枚以内とします。英語の場合は、最大2000 ワードとします。   本文内に業績などを記載する場合は、氏名は記載せず、「申請者」と記してください。   * 以下の内容を含めて記載ください。   自身が応募するフェローシップ事業（量子、マテリアル、スマート社会）が養成したい人物像を理解し、以下の内容を含めて、小論文を作成すること。  １）自身の研究の目的（学術的背景、具体的な目的、特色、独創的な点など）、計画（研究目的を達成するための具体的な研究内容・方法など）を記述すること。その際、自身の専門分野外の研究者にも理解されるよう、記述に注意すること。また、自身の研究が自然科学・科学技術や人・モノ・社会・文化のどのような課題解決に結びつくのか、またその位置づけについて記述すること。令和5年度(2023年度)日本学術振興会特別研究員に応募した者は、補足資料としてその申請書を添付しても良い。  2）本事業において、自身がどのようなトランスファラブルスキル（※）を身に着けようと考えているか、また、その理由と方法について記述すること  ※ 本事業におけるトランスファラブルスキル：イノベーション人材に必要とされる、独創性や自由な発想、チャレンジ精神、研究ニーズ発掘力、研究マネジメント能力、対話力および人を惹きつけるリーダーシップ等の広く転用・応用可能なスキル  3）博士課程修了後の自身のキャリアパスに関する考えと、社会でどのように活躍・貢献したいかについて記述すること | | | |